

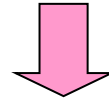
イチゴ栽培における酢糖の使用法について

○育苗時期における使用法

育苗期間中は10～15日間隔で**酢糖Ca2号 800倍**の葉面散布を実施します。



ランナーをポットに挿し右写真の状態になる頃から、**アミノ酢糖 500倍**を月に2回程度灌水します。



発根を促進させ、しっかりした根蜂を作ることにより定植時の高温障害や植痛み（2番花の遅れ）に耐え得る苗を作る。

○定植前の使用法

花芽形成時期に**ルビスク 800倍**を葉面散布し、体内の窒素を一時的に飢餓状態にし、**酢糖P 500倍**の葉面散布により花芽の形成を確実なものにする。

○定植時の使用法

定植時の根占灌水に**アミノ酢糖 500倍**を混用し手灌水する。

チューブ灌水後は10～15日間隔で**1ℓ/10a**（他の肥料と混用可能）を灌水。

○定植後の使用法

定植後は定期的に**アミノ酢糖 1ℓ/10a**（2～3回/月）灌水（肥料との混用可能）を実施。

定植後、生育が旺盛過ぎる場合はルビスク 800倍の葉面散布で樹勢の抑制を図る。
また、成疲れの際はルビスク 800倍+尿素（同じ倍数）を葉面散布する。

チップバーン対策として**酢糖Ca 500倍**の葉面散布を定期的に行う。

～問合せ先～

ファームテック株式会社
0120-23-2335